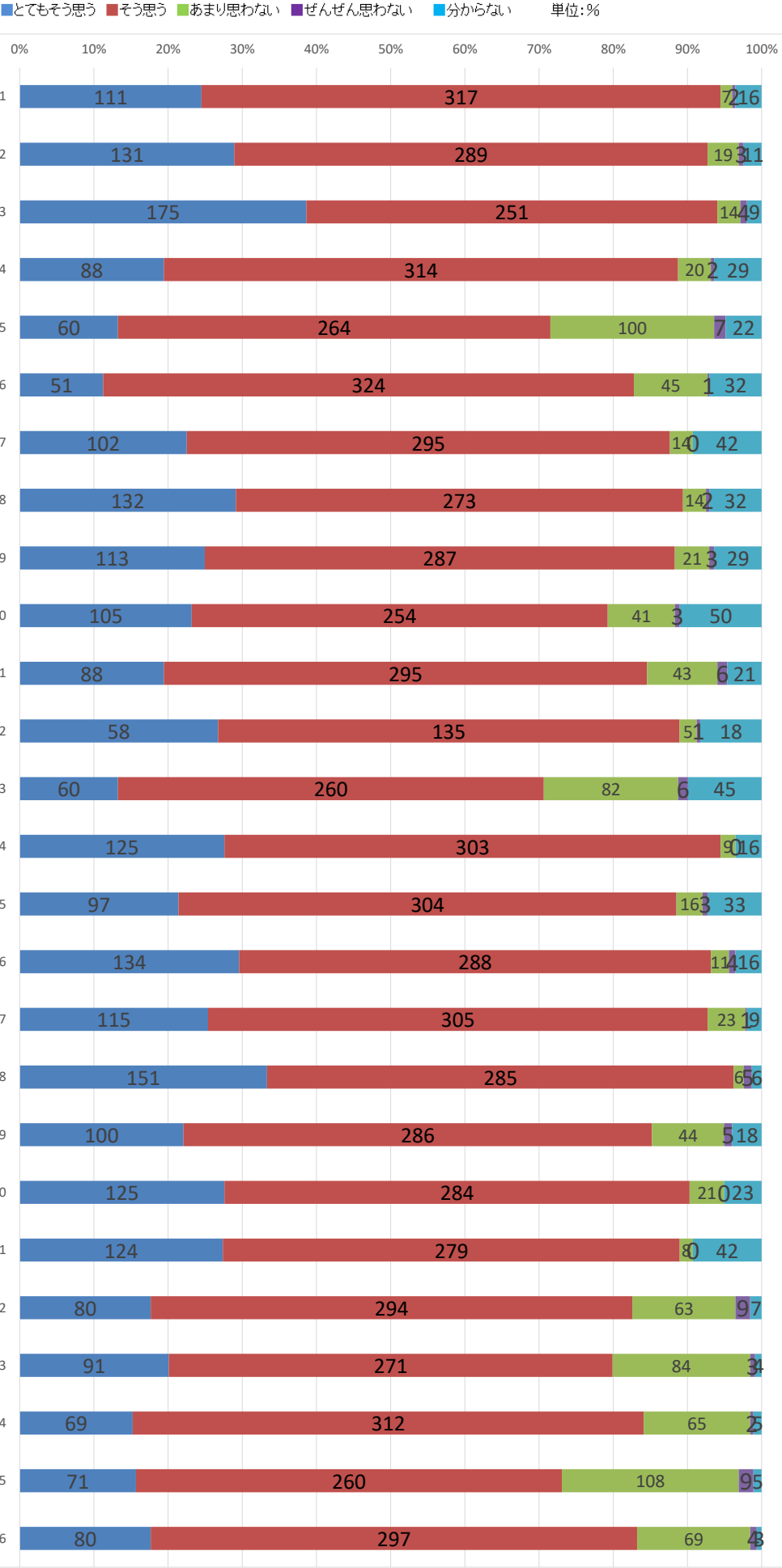


令和6年度 新宿区立四谷小学校 学校評価 保護者アンケート結果（後期） 回答率71.6%

	<質問項目>	○今年度前期＋3ポイント	▼今年度前期－3ポイント	肯定的回答割合		
				R 5 後期	R 6 前期	今回
1	学校の教育目標・方針は子どもたちや地域の実態にあった適切な内容である。※知育・徳育・体育を重点とする教育目標や学年目標、指導の重点等			93.7	93.2	94.5
2	四谷小の子どもたちは仲よく生活しており、学校での様子は楽しそうである。			95.7	93.7	92.7
3	教職員は、誠実に子どもや保護者に接している。			97.2	96.4	▼94.0
4	学校では道徳や全ての教育活動を通じて命を大切にすることや思いやりの心を育む指導に努めている。			91.0	88.1	88.7
5	四谷小の子どもたちはあいさつの習慣が身に付いている。			67.5	71.5	○71.5
6	四谷小の子どもは思いやりの心や社会のルールを守る態度が身に付いている。			79.6	81.8	○82.7
7	四谷小の子どもたちは、係や当番の仕事に進んで取り組んでいる。			88.8	85.1	87.6
8	四谷小の先生は、分かりやすい授業を行っていると思う。			89.8	89.3	89.4
9	四谷小の先生は、子供たちに基礎・基本の学力をつける指導に力を入れている。			91.8	88.9	88.3
10	四谷小は、タブレットPCなどを使って、子どもが「調べる」「まとめる」「伝え合う」授業をよく行っていると思う。			87.1	70.9	▼79.2
11	授業中は話の聞き方、発表の仕方等の「学習のルール」が守られており、落ち着いた雰囲気の中で進められている。			88.0	84.3	▼84.5
12	教科担任制等の取組は、様々な教員による児童理解や分かりやすい授業づくりにつながっていると思う。（新規項目につき、前年度の結果なし）			—	52.6	88.9
13	学校は、子供たちの体力向上や健康推進に積極的に取り組んでいる。			73.9	67.7	▼70.6
14	学校は災害の知識や身を守るための対処法などの自助の力や地域防災に協力・貢献する共助の力の育成につながる防災学習や防災活動を行っている。			93.1	90.3	○94.4
15	学校は行事や特別活動（委員会活動、クラブ活動、異学年交流等）の活性化に努めている。			91.5	86.3	▼88.5
16	子どもにいいめやいじめの疑いがある時には、学校に相談することができる。（しろうと思う。）			92.0	93.3	93.2
17	学校の教室や施設には掃除が行き届き、安全で利用しやすく整備されている。			91.1	93.9	92.7
18	各種授業参観、学校公開日は保護者、地域の方が参加しやすい設定になっている。			95.5	95.8	96.2
19	学校は、日頃の教育活動の様子などについて、保護者会や学校だより、ホームページ等で分かりやすく伝えられていると思う。			87.1	90.3	▼85.2
20	学校は、学校外の専門家の人（警察・消防・福祉・水道・商店・スポーツ選手等）から学ぶ授業をよく行っていると思う。			90.5	83.9	○90.2
21	学校は、子どもが学校にかかわる地域の人（スマイルクラブの皆さん）と一緒に活動する機会をよくつづけていると思う。			92.3	88.1	89.0
22	自分のこどもは、家庭学習の習慣が身に付き、継続させることができている。			81.3	83.0	82.6
23	自分のこどもは「早寝、早起き、朝ごはん」がしっかりできている。			83.1	81.6	▼79.9
24	自分のこどもは、あいさつや場に応じた言葉づかいができている。			86.3	83.2	84.1
25	自分は、学校の配布物を確認し、持ち物・提出物の点検を行わせている。			75.9	83.0	73.0
26	家庭で、子どものゲームをする時間、携帯・スマホを含むネット環境にルールを作っている。			81.4	80.4	83.2



アンケート結果に対して
全体には、肯定的回答の割合が26項目中16項目で、半数以上を占め、70%以下の項目はなかった。概ね学校の取組を評価していただいたと捉える。

□1番、2番、3番の項目については肯定的評価が維持されている。継続できるようにしたい。
□10番について前期と比較して8ポイント以上、上昇した。タブレット端末が各学級でより活用されているが、さらに充実を図りたい。
□12番について大きく改善されたことが分かる。教科担任制度を継続し児童に分かりやすい授業づくりへとつなげたい。
□14番について前期と4ポイント以上、上昇した。日頃の避難訓練を基本としながら児童が防災について学ぶ機会を来年度も保障していきたい。
□16番の項目については肯定的な評価が維持されている。家庭の相談を傾聴し、指導に生かしていきたい。
□17番の項目については肯定的な評価が維持されている。児童が気持ちよく学べるように環境整備に努めたい。
□18番が肯定的評価が高いまま維持されている。家庭が参加しやすい日程を心掛けていきたい。
□20番が前期と比較して6ポイント以上、上昇した。引き続き外部講師を招いて、児童が関われる機会を設けていきたい。

■19番について、前期と比較して5ポイント下降した。ホームページや学校だより、学級だよりなどの内容を工夫し家庭や地域へ児童の学ぶ様子が伝わるように心がける。
■25番について、昨年度と比較して10ポイント下降した。家庭と連携できるよう、学年だよりなどで児童のもちものについて知らせ協力を呼びかけていきたい。